

## I 本体調査の概要

### 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

### 3 調査実施日

平成29年4月18日（火）

### 4 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（小学校…国語、算数 中学校…国語、数学）

- 主として「知識」に関する問題
- 主として「活用」に関する問題

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 児童生徒に対する調査
  - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- 学校に対する調査
  - ・指導方法に関する取組や、人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### 5 参加学校数等

- 参加学校数 計 434校
  - ・小学校282校、特別支援学校（小学部）3校
  - ・中学校144校、中等教育学校1校、特別支援学校（中学部）4校
  
- 参加児童生徒数 計 約22,500人
  - ・小学校 約11,000人
  - ・中学校 約11,500人

## II 調査問題の概要

### 1 教科に関する調査

#### 小学校国語

A：15問（前年比±0） B：9問（前年比-1）

A問題では、報告場面の一部や手紙文などから読み取る問題のほかに、学校で配布されるようなお知らせプリントの中で、漢字の読み書きの問題を出題するなど、実生活に必要な言語事項の基礎的な知識・技能に関する問題が出題された。

B問題では、日本語を学んでいる外国の人たちに「折り紙」について紹介するに当たって、スピーチの練習を記録した動画を見る目的の考察、メモや友達の助言から効果的な事柄を選択してのスピーチ原稿の推敲など、実際の学習場面での活用を想定した問題が出題された。

#### 【特徴的な問題例】（国語B 1三）

折り紙の魅力について、スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く問題

**「正答例」**  
（「折り紙のみりよくは」に続けて）  
色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができるとや、紙一まいから立体的な形ができること、組み合わせる形をつなげられることだと、わたしは思います。（九十二字）

**1** 石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするために練習してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」「スピーチの練習の様子」グループの話し合いの様子です。これをよく読んで、おののきに答えましょう。

（スピーチメモ）

- 1 折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作ります。
- 2 自分の経験（実際に）「つる」を見せよう。
- 3 折り紙の例（「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など）
- 4 折り紙のみりよくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだ。
- 5 まとめ（準備コーナーのようか）

（スピーチの練習の様子）（動画で記録したもの）



「私は、小さいころにおばあちゃんに教わった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

他にも、「風船」「紙飛行機」などを折ることができるといいですね。

折り紙のみりよくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだ。

このあとの体験コーナーで作り方を一緒に作って楽しんでください。これで、折り紙の紹介が終わります。

（グループの話し合いの様子）

石田さんのスピーチ、よかったね。

上野 表裡がとも明るくて、折り紙のことを伝えたっていう気持ち伝わってきたよ。

北川 実物の「つる」を見せているのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。

上野 スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。

石田 うん、できていたと思うよ。それに、必要ときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。

石田 確かにできていたね。他に気を付けたことはあるかな。

北川 全体的に早口になっていないように思うので、そこを褒めたいな。

石田 そうだったかな。動画を見てみよう。

（動画を見る）

上野 そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。

北川 それから、石田さんが一番伝えたことが伝わったかな。

石田 私は、折り紙のみりよくを一番伝えたかな。

上野 それなら、折り紙のみりよくをもっとたくさん伝えたいかな。

北川 折り紙のみりよくは、どこでも手軽にできることだと思うよ。

上野 ぼくは、紙一枚から立体的な形ができることだと思うよ。

北川 「手裏剣」のように、組み合わせる形をつなげられることもみりよくだよ。

石田 折り紙のみりよくはいろいろな形があるんだね。みんなの意見を参考に、もう一度考えてみるね。

**三** 石田さんは、友達の助言を受け、「スピーチの練習の様子」の中の一つについて、もう一度考えています。石田さんは、どのように話すつもりですか。その内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 折り紙のみりよくについて、「スピーチメモ」と「グループの話し合いの様子」で出された意見から、それぞれ取り上げて書くこと。
- スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※ 前走の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※ 印から書きましょう。どちらかで行を変えないで、続けて書きましょう。

折り紙のみりよくは、	
100字	80字

# 小学校算数

A : 15 問 (前年比 - 1)

B : 11 問 (前年比 - 2)

A問題では、同じ大きさのいくつかで比べる方法を選ぶ問題、立方体の展開図を見て示された面に平行な面を選ぶ問題など、すべての領域で基礎的な内容を問う問題が出題された。数量関係では、未知の数量を表す□を用いて、問題場面を除法の式に表すことができるかどうかをみる問題などが出題された。

B問題では、カードを使った2桁の引き算の規則性を見出し説明することや、学校にハンカチとティッシュペーパーを持って来た人数について、二次元表の特徴を基にした論理的な考察、目的に応じた適切なグラフの選択など、日常の事象を数理的に捉え、算数のよさに気付くことをねらいとした問題が出題された。

## 【特徴的な問題例 算数B 4】

示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ問題  
 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数を表しているグラフを選ぶ問題

4

学校で、4年生以上の学年について、ハンカチとティッシュペーパーを持ってきているかどうかについて調べました。  
 ゆうじさんは、調べた結果を次のようにまとめました。

学年	ハンカチを持ってきた	ティッシュペーパーを持ってきた	両方持ってこなかった	学年の人数
4年	40	47	2	52
5年	62	61	1	70
6年	52	57	1	60



ゆうじさんが作った表には、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数が書いてありません。

さくらさんは、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数を求めるために、表をまとめ直すことにしました。

ゆうじさんたちは、調べた結果をグラフに表して発表しようと考えています。



ハンカチとティッシュペーパーの両方を、いちばんよく持っている学年がわかるようなグラフを作りたいです。



学年の人数がちがうので、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合がわかりやすいグラフを作ればよいと思います。

(2) それぞれの学年の、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチと

【正答】

(1) 【「8」が表す人数】

8は、ハンカチを持ってきて、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数です。

【記号】イ

(2) 3

下の表は、5年生の結果をまとめ直したものです。

		ティッシュペーパー		合計
		持ってきた	持ってこなかった	
ハンカチ	持ってきた	ア	イ	62
	持ってこなかった	ウ	1	エ
合計		61	オ	70

さくらさんは、表をもとに次の式をつくり、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた5年生の人数を54人と求めました。

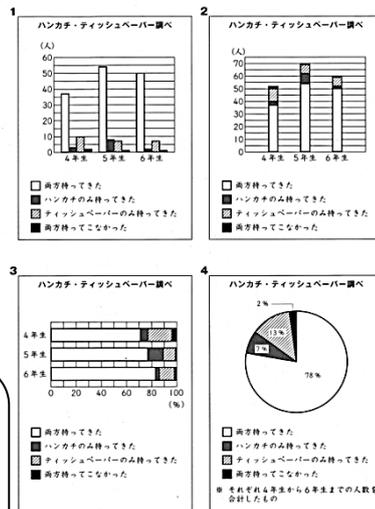
【さくらさんの式】

$$\begin{aligned} 70 - 61 &= 9 \\ 9 - 1 &= 8 \\ 62 - 8 &= 54 \end{aligned}$$

【さくらさんの式】の中の、「9」は、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数の合計を表しています。この「9」は表のオにあてはまります。

(1) 【さくらさんの式】の中の、「8」はどのような人数を表していますか。言葉を使って書きましょう。

また、この「8」は、表のどこにあてはまりますか。アからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。



A問題では、散文や韻文の解釈、スピーチの構成の工夫や効果的な資料の示し方、自分の体験をもとにして書いた物語の推敲、行書の基礎的な書き方等、国語科の指導事項の基礎的・基本的な内容が出題された。また、話合いの結果を端的に表す言葉を考えるなど、語彙力を求める問題が出題された。

B問題では、けん玉のコツを伝えるスピーチや文学作品の紹介冊子を作成する学習活動等、日常生活や学習活動の流れに沿った問題が出題された。また、本の紹介カードを見て、実際に読書し、読書の記録に考えを書くという一連の読書活動を扱った問題も出題された。

【特徴的な問題例 国語B 1三】

比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く問題

1 青山さんは、学校図書館で図書委員の生徒が作った「本の紹介カード」を見て、実際にその本を読んでみて、青山さんが見た「本の紹介カード」と、青山さんが読んだ「本の一部」です。これらを読んで、あと

【本の紹介カード】

【本の一部】  
父は気が利いたときに「特」に、いものが入ったときに「講釈を聞かせてくれた。娘たちを呼び、ゆる。私と七葉は喜んで聞いた。妙案はまだ小さかった。いつ頃からか、父は七葉を呼びはなくなった。呼んでも来なくなったから、私に善美娘があるかどうか妹のうち私だけが興味を失った。それだけが父の基礎だったと思。私の目のまぶさを見抜き、信じて、だけど、ほんとうのところ、父はそれほど期待していなかったのかもしれない。ものを見る目は育つんだよ。持つて生まれたものなんだが知れている。あとほどだけたくさんいものを見るかにかかっているんだ。だから、そもそも好きじゃなくちゃいけない。好きじゃなかったら、いものをつたくさん。一生かけて見捨てるなんてこと、できないだろう。

品物の講釈をするのはいつも温かな、やさしい声だった。ときどき熱が入って、講釈が長くなることもあったけれど、私はそれが楽しかった。好きだと聞かされる前に、父はこれが好きなんだ、とわかってしまう。ぬるいお風呂に浸かっているところ、熱いお湯をこんど足していくみたいに、父からの熱が私に私の肌を伝わってくる。私ははっとして父の顔を見る。父は私の顔なんて見ていないで、手もとの品物だけを見て、私も品物に目を戻す。すると、父は今素晴らしい話を話している。物語に光があたっているような気がするのだ。なんてこをいようか見えていた文庫の、探げも、いびつなくらしい輪郭も、急に輝きを帯びてくる。速い音に生まれ、人の手を伝ってここまでたどりつき、やっとめくあえた宝物が、ほんの一時、私に向かって心を開く。

そこにすべてがある、と思う。今、私のまわりで現象が起こっているすべてのことを合わせてもかなわない。一枚の里がどんなにどうとさせられるのか。閉じ込められていたはずのものが、扉を開け、ゆるりと正体を現し、目の前で立ち上がる。そんな瞬間をたしかに感じるのだ。たとえば中学の教室に沈んで、いる気配まりな緊張感が、厄介な友人関係

【読書の記録】

書名 スコレNo.4  
著者名 宮下奈都

〈心に残った一文〉

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

〈感想〉

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 (心に残った一文) は、「本の一部」から、比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くこと。

条件2 (感想) は、条件1で取り上げた表現について、「誰(何)の」「どのまな」様子なのかを明確にした上で、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

【正答例】  
 <心に残った一文>  
 興奮のあまり黒い目が濡れたように光って怖いくらいだった。  
 <感想>  
 七葉が自分の思い付きに興奮して目を輝かせている様子を表して、七葉がお皿を水に濡らすことに夢中になっている姿が想像できます。

二 青山さんは、「本の紹介カード」にある「比喩を用いた表現」に着目して「本の一部」を読み、感じたことや考えたことなどをあとの「読書の記録」に書いています。あなたなら「読書の記録」の「心に残った一文」と「感想」にどのようなことを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線でも消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

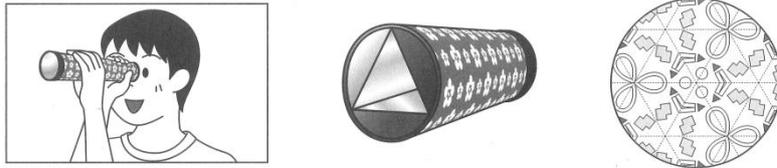
A問題では、単位量あたりの重さを文字式で表す問題や、文字式における文字や数の表す内容を適切に読み取る問題など、すべての領域から、基礎的・基本的な内容を問う問題が出題された。また、「図形」の領域で作図の根拠を考える問題、「資料の活用」の領域では、確率の考え方を問う問題などが出題された。

B問題では、対称図形の性質を用いて「万華鏡の中に写し出される図形」について考察する問題や、ダムの貯水量の変化を一次関数と捉えて、ある量になるまでに経過した日数を求める方法を説明する問題など、これまで同様、数学を使って日常生活の課題を解決する力を問う問題が出題された。

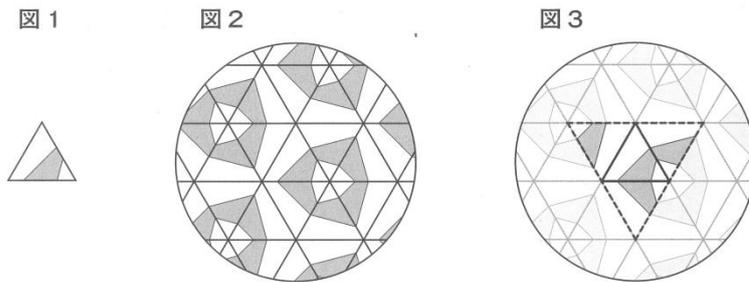
【特徴的な問題例 数学B 1(1)】

隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ問題

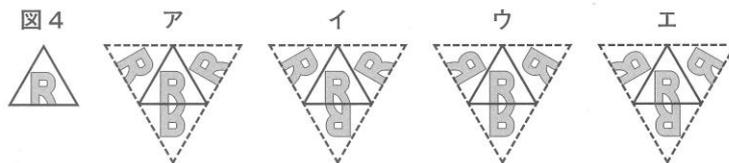
- 1 <sup>まんげきょう</sup>万華鏡は次のような筒状のおもちゃで、中に3枚の鏡を組み合わせた正三角柱が入っています。鏡が内側に向いているので、中をのぞくと、正三角柱の底面にある模様が周りの鏡に映って、美しい模様が見えます。



正三角柱の底面にある模様が図1である場合、図2のような模様が見えます。これは、隣り合う正三角形がすべて、共通する辺を軸に線対称になっているとみることができます。例えば、図3にある4枚の正三角形に着目すると、隣り合う正三角形は、共通する辺を軸に線対称になっていることがわかります。



- (1) 図3の真ん中にある正三角形が下の図4の模様である場合を考えます。このとき、点線で囲まれた正三角形の模様が、下のアからエまでの中にあります。それを1つ選びなさい。



[正答] ウ

## 2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

**児童生徒に対する調査** 小学校：92問（前年比+7）中学校：94問（前年比+9）

学校での学習活動や学習内容の活用状況、部活動への参加や放課後の過ごし方、家族や地域との関わりなどに関する質問が新たに追加された。また、休日の過ごし方、携帯電話やスマートフォン等を使用する上での約束、家族や地域との関わり、外国や外国の人への関心・関わりについてのいくつかの質問が復活した。

### 【新たに追加又は復活した質問】

#### ○学校での学習活動や学習内容の活用

- ・友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。
- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている。

#### ○部活動への参加、放課後や休日等の過ごし方

- ・学校の部活動に参加していますか。（中学校のみ）
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか。（中学校のみ）
- ・普段（月曜日から金曜日）、家から出発してから学校に着くまでに、どれくらいの時間がかかりますか。
- ・放課後に何をして過ごすことが多いですか。
- ・土曜日の午前（午後）は、何をして過ごすことが多いですか。

#### ○携帯電話やスマートフォン等を使用する上での約束

- ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。

#### ○家族や地域との関わり

- ・家の人（兄弟姉妹は含みません。）と将来のことについて話すことがありますか。
- ・家の人（兄弟姉妹は含みません。）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。
- ・授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。

#### ○外国や外国の人への関心・関わり

- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。
- ・将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う。

**学校に対する調査** 小学校：111問（前年比-5）中学校：109問（前年比-5）

国語・算数（数学）の総授業時数、カリキュラム・マネジメント、学習評価、小学校教育と中学校教育の連携、家庭学習、教員研修に関する一部の質問が削除された。

また、指導方法や学習規律、個に応じた指導、地域の人材・施設の活用に関する質問等が新たに追加された。

**【新たに追加された質問】**

**○児童**

・調査対象である第6学年の児童のうち、就学援助を受けている児童は、何人ですか。

**○指導方法・学習規律**

・各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた。

**○個に応じた指導**

・算数（数学）の授業において、前年度の第5学年（第2学年）で、年間を通じておおそ何人の集団で指導しましたか。

**○地域の人材・施設の活用**

・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導。  
・授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定。

**Ⅲ 保護者に対する調査の概要**

**1 調査の目的**

家庭環境と児童生徒の学力等の関係について分析することにより、国、教育委員会及び学校における教育施策や教育指導の改善・充実に役立てる。

**2 調査対象**

文部科学省が無作為に抽出した公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者

※全国で小学校1200校程度、中学校800校程度

**3 調査実施日**

平成29年5月8日（月）～5月29日（月）

※期間中で調査対象校が実施可能な期間

**4 調査内容**

児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等

**5 その他**

抽出校名は非公表